

平成24年7月25日

各 位

会 社 名 太 洋 工 業 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 細 江 美 則  
 ( J A S D A Q ・ コ ー ド : 6 6 6 3 )

問 合 せ 先

取 締 役 管 理 本 部 長 阪 口 豊 彦  
 兼 経 営 企 画 部 長  
 電 話 0 7 3 - 4 3 1 - 6 3 1 1

平成24年12月期 第2四半期累計期間及び通期  
 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成24年2月3日付当社「平成23年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました平成24年12月期(平成23年12月21日～平成24年12月20日)の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間(平成23年12月21日～平成24年6月20日)

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	四 半 期 純 損 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 損 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 ( A )	2,364	20	19	△2	△0.46
今 回 修 正 ( B )	1,876	△72	△58	△69	△11.84
増 減 額 ( B - A )	△487	△93	△78	△66	—
増 減 率 ( % )	△20.6	—	—	—	—
ご参考：前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	1,918	△48	△38	△44	△7.65

(2) 通期(平成23年12月21日～平成24年12月20日)

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	当 期 純 損 益	1 株 当 たり 当 期 純 損 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 ( A )	4,890	109	100	38	6.60
今 回 修 正 ( B )	4,069	△76	△70	△96	△16.52
増 減 額 ( B - A )	△821	△185	△171	△135	—
増 減 率 ( % )	△16.8	—	—	—	—
ご参考：前期実績 (平成23年12月期)	3,961	△51	6	6	1.15

## 2. 個別業績予想の修正等

### (1) 第2四半期累計期間（平成23年12月21日～平成24年6月20日）

	売上高	営業損益	経常損益	四半期純損益	1株当たり 四半期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（A）	2,250	23	24	△6	△1.10
今回修正（B）	1,774	△69	△53	△70	△12.05
増減額（B-A）	△476	△92	△78	△64	—
増減率（%）	△21.2	—	—	—	—
ご参考：前期第2四半期実績 （平成23年12月期第2四半期）	1,865	△17	△7	△31	△5.39

### (2) 通期（平成23年12月21日～平成24年12月20日）

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（A）	4,627	90	86	16	2.86
今回修正（B）	3,880	△46	△35	△79	△13.52
増減額（B-A）	△746	△136	△122	△95	—
増減率（%）	△16.1	—	—	—	—
ご参考：前期実績 （平成23年12月期）	3,811	△12	44	34	5.90

## 3. 修正理由

第2四半期累計期間連結業績予想については、主として電子基板事業において国内電機業界の不振を背景に取引先の事業再編等の影響を受けたこと、及び新たな取り組みによる電子基板の量産受注等を当初想定していたほど獲得できなかったことにより、販売が計画どおり進展しなかったこと等から、売上高は当初予想を487百万円下回る1,876百万円（前年同四半期比2.2%減）となる見込みであります。損益については、上述のように販売が計画どおり進展しなかったことに伴う売上総利益の減少等の影響により、営業損益は当初予想より93百万円悪化の72百万円の営業損失（前年同四半期は48百万円の営業損失）、経常損益は当初予想より78百万円悪化の58百万円の経常損失（同38百万円の経常損失）、四半期純損益は当初予想より66百万円悪化の69百万円の四半期純損失（同44百万円の四半期純損失）となる見込みであります。

通期連結業績予想については、中国の景気減速懸念の高まりや夏の電力供給不足問題等により、依然として厳しい状況であります。主力事業である電子基板事業においては、電子基板の量産受注計画等の見直し、基板検査機事業においては、引き続き競合他社との厳しい受注獲得競争を想定し、第2四半期累計期間の業績の状況を踏まえ、売上高は当初予想を821百万円下回る4,069百万円（前年同期比2.7%増）、営業損益は当初予想を185百万円悪化の76百万円の営業損失（前年同期は51百万円の営業損失）、経常損益は当初予想を171百万円悪化の70百万円の経常損失（同6百万円の経常利益）、当期純損益は当初予想より135百万円悪化の96百万円の当期純損失（同6百万円の当期純利益）となる見込みであります。

また、個別業績予想についても、連結業績予想と同様の理由により、当初予想と比較して売上高については下回り、損益については悪化を見込んでおります。

## 4. 平成24年12月期配当予想

第2四半期末配当金及び期末配当金については、平成24年2月3日付当社「平成23年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」からの変更はありません。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上